

のせで暮らす

【もくじ】

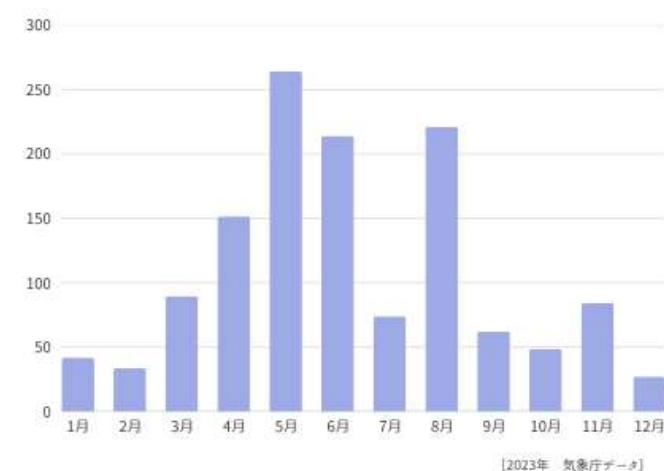
のせのコト		P1
すむ		P5
はたらく		P6
まなぶ		P7
すむ人の声		P11



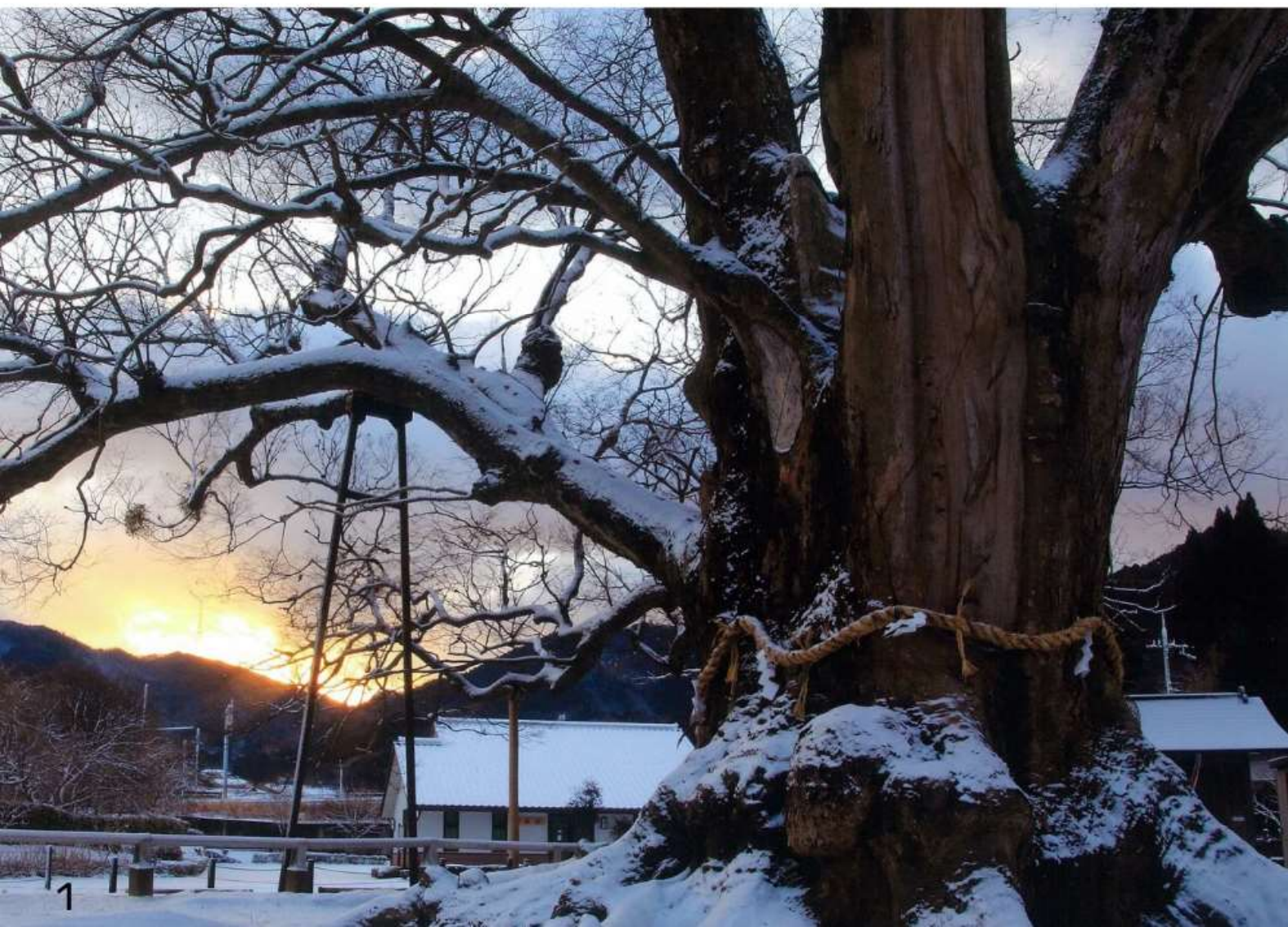
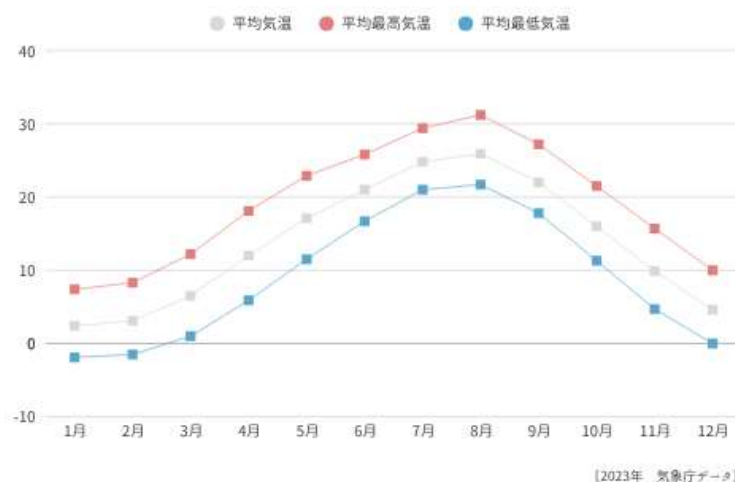
気候

降水量

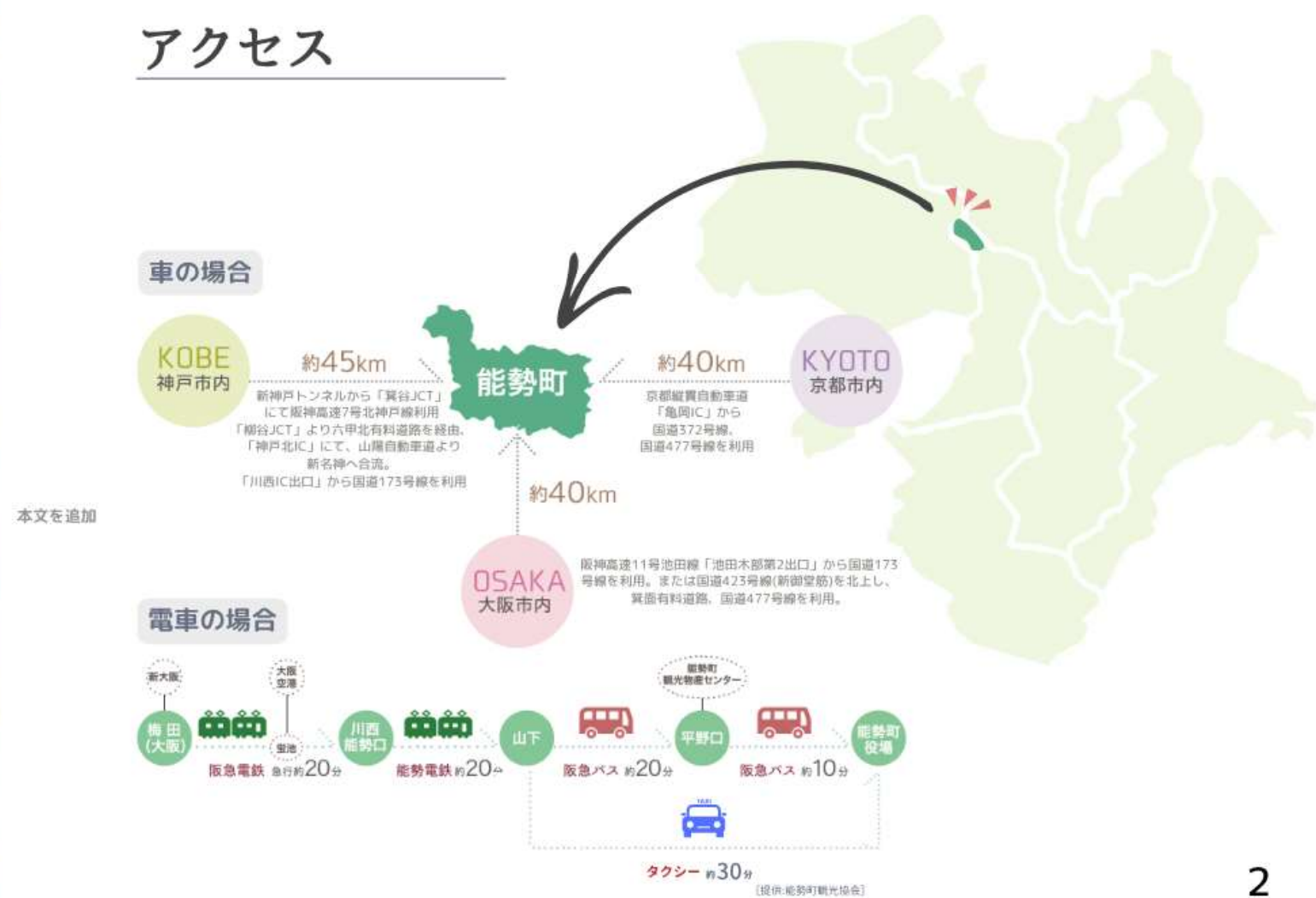
冬場は氷点下になるため積雪することがあります。路面凍結もするため通勤などで車を利用する方はスタッドレスタイヤがあると安心です。

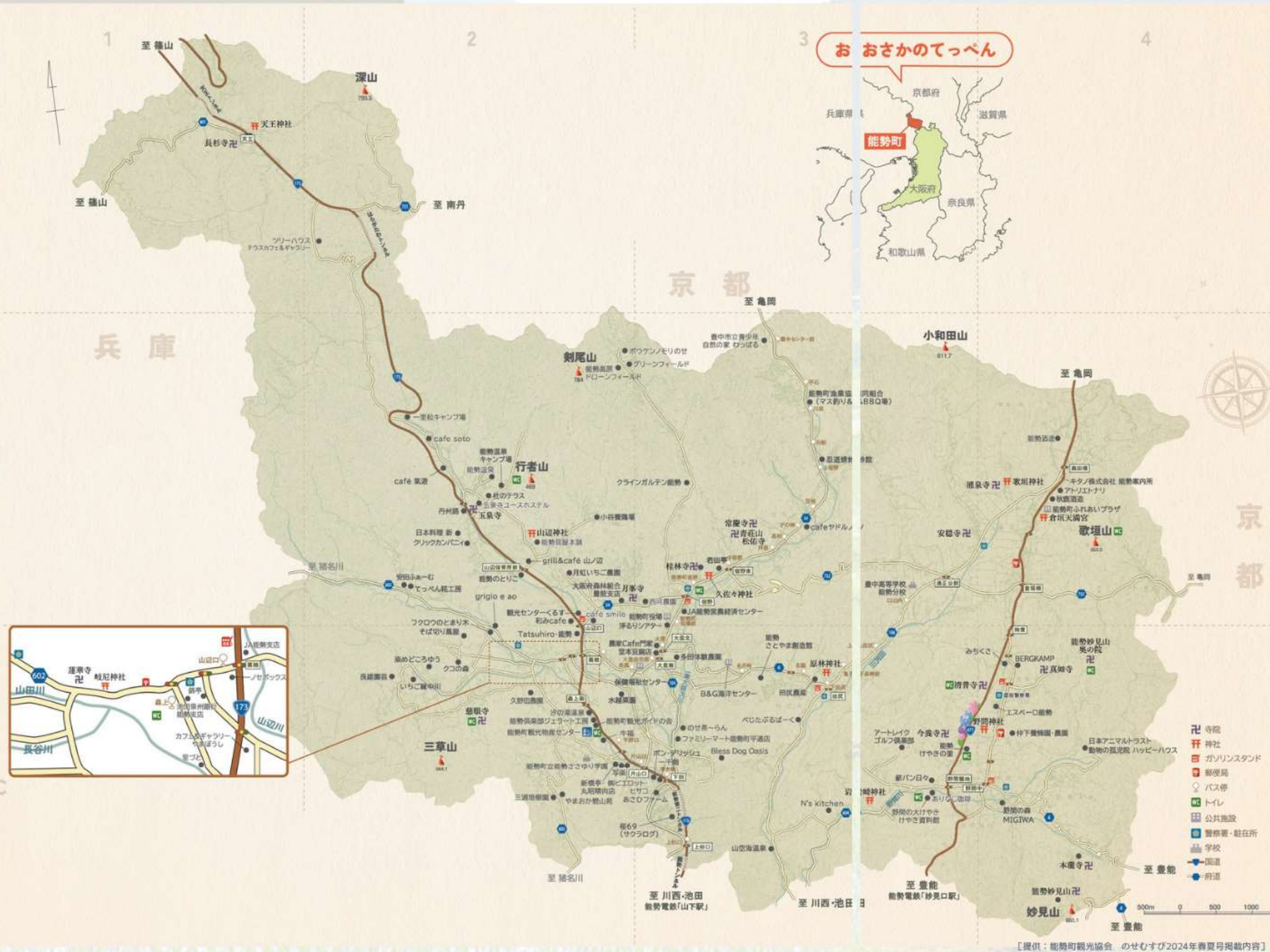


大阪市内より気温が5℃ほど低いことから「大阪の奥座敷」と言われ避暑地としてこれまでに親しまれてきました。年間平均気温は14.3℃（大阪市平均17.5℃）能勢町は標高200～500m程度に位置しており昼夜の寒暖差が大きいことが特徴です。



アクセス





【お金・買い物】



- ・池田泉州銀行 1 か所
- ・ゆうちょ 3 か所
- ・JAバンク 2 か所
- ・コンビニATM 3 か所



- ・スーパー 2 か所
(ノセボックス/ジャパン)
- ・ホームセンター 1 か所
(コメリ)
- ・コンビニ 3 か所
(ファミリーマート)
- ・道の駅 1 か所
(能勢くりの郷)

この他にも町内には商店や農産物直売所がございます。

【教育】



- ・町立義務教育学校 1か所
(小学校から中学校までの教育を一貫して行う学校)
能勢町立能勢ささゆり学園
- ・府立高校 1か所
大阪府立豊中高等学校能勢分校



・町立保育所 1 か所
のせ保育所
・認定こども園 1 か所
みどり丘幼稚園

【医療】



- ・町営診療所 1 か所
- ・民間診療所／クリニック 4 か所
- ・歯科医院 2 か所

※18歳到達後の最初の3月末まで自己負担額は
1医療機関あたり 入通院1日につき500円（月2日限度）
また1ヶ月2,500円を超える額は償還します。

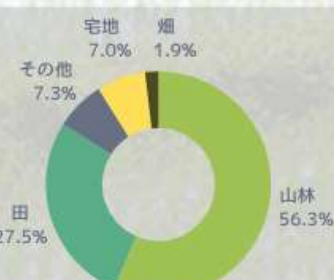


- ・病後児保育室があります
保護者の子育てと就労の両立を支援するため、病気やけがの回復期にある集団保育が困難な1歳児クラスから就学前児童を一時的に預かりし保育します。
※要予約、1日につき500円
- ・休日の 大人、こどもの発熱
池田市休日急病診療所 ※能勢町役場より車で40分ほどの距離
(池田市城岡3丁目1-18 TEL072-752-1551)
- ・夜間や休日のこども(中学生以下)の発熱など
豊能広域こども急病センター
※能勢町役場より車で40分ほどの距離
(箕面市萱野5丁目1-14 TEL072-729-1981)
- ・どうしてもいかわからぬ場合
救急安心センターおおさか (TEL#7119)

【まち】

人口 : 8,815人
世帯数 : 4,507世帯
面積 : 98.75km²

〔令和7年8月末 住民基本台帳〕



「令和5年度 土地に関する簡便調査報告書」



町内の交通手段

・路線バスと乗合タクシーが主な公共交通機関です。
自家用車があると便利な地域です。
※乗合タクシーの利用に関しては能勢町民に限定。



【住まいの探し方】

・能勢町空き家バンク

・不動産業者（能勢町協定締結業者）



能勢の移住生活応援ページ

事業者	住所	連絡先
株式会社ホンダ	能勢町野間中868-1	072-737-0100
オーエムシーハウジング	能勢町下田尻323	072-735-2526



水道

○上水道

・能勢町内の水道は公営水道となっており、使用水量に応じて料金が発生いたします。
※公営水道が宅地に引き込まれておらず、井戸水利用の住宅も一部存在します。
新たに公営水道を引く場合には費用（加入金等）が必要となります。

窓口：豊能地域水道センター
電話番号 072-738-3311

○下水道

・「公共下水道」、「合併浄化槽」又は「汲み取り」で料金は異なります。
※浄化槽の使用者は、清掃、保守点検、法定点検が義務付けられており、別途費用が発生します。

窓口：浄化センター(都市整備課)
電話番号 072-734-3403



ガス

○ガス

・町内においてプロパンガスの設置をしている住宅が大半を占めます。
都市ガスと比べてプロパンは費用が高くなる傾向があります。

point!



能勢の冬は寒いです。
石油ファンヒーターなどを使用する家庭も多く、灯油代が別途必要になるかもしれません。



電波

○携帯やポケットWi-fi

・山間部のため通信できない、または繋がりにくいエリアが一部あります。
各通信キャリアの電波エリアの範囲をご確認ください。

○地デジTV

・地上デジタル放送も光回線であればアンテナ不要で視聴可能です。
アンテナによる受信の場合、地域によっては電波が繋がりにくいエリアが一部あります。
※光回線を利用する場合は、プロバイダーとの契約が別途必要です。



○就農

・能勢町では若手農業者による「能勢青年農業者（4H）クラブ」が結成されています。
地元農家や地域の連携体制など新規就農をするにあたり頼りになるコミュニティがあります。

相談窓口 みどり環境課

受付時間：午前8時30分～午後5時00分まで（土曜日・日曜日・祝日を除く）

電話番号 072-734-3976



○起業・創業支援

・能勢町では地域に根差した創業支援を実施している団体と連携協力して、町内における創業支援を促進します。

能勢町商工会【ワンストップ窓口】窓口

受付時間：午前9時00分～午後5時00分まで（土曜日・日曜日・祝日を除く）

電話番号 072-734-0460



創業支援の窓口ご案内ページ

くらしのハテナ??

能勢町の暮らしには、農業が密接に関わっています。古くから農村コミュニティを中心に住民同士が助け合いながら生活をする仕組みとして『区（自治会）』を単位とした地域でのルールを作り発展してきました。
いざという時のための消防団活動や、道作り（道路の修繕作業）などの地域行事への参加を求められることもあるかと思いますが。

ここには都市部では少なくなった「人との関わり」が残っています。
関わることで見えてくる地域の文化、能勢の暮らしを楽しむことを是非お勧めします。



○自治会費

・お住まいになる区により費用は異なります。相場は月額1,000円～3,000円



○移住相談窓口 総務課

受付時間：午前8時30分～午後5時00分まで（土曜日・日曜日・祝日を除く）

電話番号 072-734-3036

メール seisaku@town.nose.osaka.jp





のせ保育所

目指すこどもの姿

- 遊ぶの大好き
- 食べるの大好き
- 創るの大好き
- みんなが大好き

【入所に関して】
対象：産休明け(生後57日目)から就学前までの乳幼児

【保育時間】
標準時間：午前7時～午後6時
短時間：午前8時30分～午後4時30分

【延長保育】
保護者の方が通常保育時間を超えて勤務しなければならない場合、通勤時間を含んだ必要範囲内で時間を延長することができます。
標準時間：午後6時30分～
短時間：午前7時～午前8時30分・午後4時30分～

【通園】
自家用車、徒歩

point!



のせっ子保育

のせ保育所は、田んぼや川など里山の自然に囲まれ、各クラス20名程度とアットホームな雰囲気の中で毎日元気に楽しく生活しています。外遊びなどを通じて、四季折々を全身で感じ、花や虫に触れ合いながら自然に親しんでいます。年長になると、保育所からいつも見ていた三草山に親子で登ります。伝統行事のお祭りで馴染みのある和太鼓への取組もあり、子どもたちが心をひとつに演奏する和太鼓は感動すること間違いなしです。「能勢ならではの体験」が待っています。様々な経験から自尊心を育み自分を大好きになって欲しいです。そして、みんなのことも大好きになって欲しいと願っています。

詳しくはこちら



設立：2002年4月
住所：能勢町今西25番地の1
電話番号 072-734-0079
FAX番号 072-734-0010

幼保連携型認定こども園 みどり丘幼稚園

教育方針

「ゆたかに、こまやかに、自立を目指して」

日常の活動

豊かな体験で編成した教育・保育で
子ども自身の伸びる力を育て、自立をサポート。

point!



子ども・子育て支援新制度における幼保連携型認定こども園みどり丘幼稚園は、能勢町の中央、名月峠の頂上に位置し、町立グラウンドや体育館に隣接した地にあります。周囲は緑豊かな自然に囲まれ、広々とした園舎・園庭で子ども達が伸び伸びと活動できる教育環境です。ふくろうの森、広い園庭の自然の中で子供たちが思いっきり遊びます。絵画指導・機能遊び・水泳・体育講師による音体活動・専門講師による英語・師範による空手など、豊かな体験で編成した教育・保育で、子ども自身の伸びる力を育て、「自立」をサポートしています。

詳しくはこちら



設立：1993年4月
住所：能勢町柏原62番地の2
電話番号 072-734-3200
FAX番号 072-734-3262





能勢ささゆり学園（義務教育学校）

能勢ささゆり学園 学校教育目標

「自律」自ら考え、判断し、行動する
「共生」違いを認め合い、他者を尊重し、ともに生きる
「創造」新たな課題に向かい、工夫してつくりだす

学年 : 1年生～9年生
前期課程（1～6年生）→260名
後期課程（7～9年生）→155名
※R7.5.1時点の人数

2学期制：1学期（4月-9月）2学期（10月-3月）

通学方法：自宅～学校間に関して
徒歩 片道概ね3km未満の児童
自転車 片道概ね6km未満の生徒
バス 上記の距離以上の児童生徒と
天王地区、東地域の児童生徒
（朝1便8時前に学校着、帰り3便）

放課後児童クラブ：あり（定員あり）
（学童） 詳しくはこちら→



point!



子どもたち一人ひとりを「たくさんの大人の目、職種」で見守るために地域のたくさんの組織と連携した専門家チームを構築し、学校生活をサポートしています。サポートは校内にとどまらず支援員が全家庭を訪問するなど、現状把握に努め、課題があればチームへ情報共有し、迅速な支援の提供などを実現しています。学習内容は能勢ならではのものも多く、前期課程では他の施設との交流や町内で登山、自然観察や川遊び、田植えや収穫体験などさまざまです。後期課程でおこなう「地域インターンシップ」では町内の農家含めて約30をこえる事業所で仕事体験ができ地域学習も充実しています。

詳しくはこちら



設立：2016年4月
住所：能勢町平野110番地
電話番号 072-734-9028
FAX番号 072-734-9029

大阪府立豊中高等学校 能勢分校

スクールミッション

能勢・豊能の地において
学校づくりとまちづくりを地域とともに実践し、
社会の変化を追い風と捉えながら
新たな価値を生み出す人物を育成する。

point!



全校生徒約80名と超少人数。ひとりひとりの想いや不安にピタリと寄り添うことを強みとしており、とてもアットホームな雰囲気です。海外からの留学生を継続的に受け入れておりグローバルな交流機会が豊富にあります。そして能勢・豊能をフィールドに生徒自ら自由に課題を発見し原因を深掘り、チームで協力しながら高校生の視点で答えを導き出す「地域との協働による課題探究」の授業が教育の目玉になっています。2年次からは4つの専門的なコースから選択でき、その一つである「食農流通コース」では全国でも珍しい「養蜂」を学ぶことができるのも能勢分校ならではの点です。

詳しくはこちら



設立：2018年4月
住所：能勢町上田尻580番地
電話番号 072-737-0666
FAX番号 072-737-1046





能勢町に住むまでの経緯は？
 (歩) 能勢に来る前は大阪市内で運送業をやっていた。通える場所で家庭菜園を始めるために能勢の農家さんのところに通い教えてもらっていました。能勢が気に入ってというより、自然な成り行きで住むようになりました。
 (絵美) 大学生の頃から農業をしたいと考え、国内外の様々な場所でファームステイしていました。最終的には慣れ親しんだ地元で農業がしたいと思い、農業研修で訪れた能勢に移住し、研修先で歩さんに会いました。
能勢の好きなところは？
 (絵美) やはり自然が多いところが魅力ですね。四季を身近に感じることが多いです。例えば春は路(ふき)のとうや筍(たけのこ)、夏は梅や野菜、秋は柿や栗、冬は柚子や原木椎茸など季節ごとに色々な作物が採れるのが嬉しいですね。

移住希望者へ一言。
 (歩) これがしたいという「具体的」なものがあれば、その土地でコツコツ続けることが大事だと感じます。自分勝手にやりすぎず、周りの方との折り合いをつけながら、真面目にやっていたら自然と楽しく暮らしていると思います。
子育てについての環境は？
 (絵美) のせ保育所で4人全員お世話になりました。当時は事業の立ち上げなどで仕事に忙しい時期でしたが、産後57日目からでも預けられるので、とても助かりました。時間も19時まで預かっていただけ、豪雨の時など含めて比較的休みも少ない印象でした。今は子どもも義務教育学校に通い「バス通学」で保育園の時のような送り迎えも減り助かっています。
 (歩) あとは地域の方に見守られながら子育てできていると感じます。子どもが家とスクールバスの停留所の間を歩いている際には近所の方が「おはよう」「おかえり」と声をかけてくださったり、近所のお店にお菓子を買いに行ったら店番の方が名前を覚えてくださってやさしく声がけしてくださったりしてありがたいです。



いつ頃能勢に来られたのですか？
 能勢に来たのは、22年4月です。それまでは箕面市に住んでいました。もともとは大阪市内の出身で、IT関係の仕事をしており奈良県に住んでいたこともあります。
農業を始めたきっかけは？
 奈良に住んでいた時に興味本位でまちづくりのイベントに参加した際、元農家の方に出会いました。その方のご厚意で小さな畑を借りて家庭菜園を始めたことがきっかけです。その後、箕面に引っ越し、近くの大学の留学生を自宅に受け入れた際に「やりたいことに向き合っている」姿に影響を受け、その時に面白くて続けていた家庭菜園を仕事にできれば自分より輝かせるのではと考え始めました。コンクリート上の生活から離れ、自然の中で土に触れて「自然循環」を感じる生活へ一変しました。今では作物は約20種類を無農薬で栽培しております。
農業で能勢を選んだ理由は？
 能勢に来たのは、農業をすることを決めてからです。関東も含めて様々な場所です。最終的に能勢にした決め手は町内に安定した出荷先があることや、4Hクラブ(農業青年クラブ)の存在が大きかったです。4Hクラブでは農家同士の人のつながりが増えますし、色々と情報を得ることができました。就農前の農家を目指している段階でも参加できてよかったです。
 新規就農者にとっては能勢は非常に恵まれた環境が揃っていると感じます。

地域との関わりはありましたか？
 これまで暮らしてきた街中と比べると人間関係は濃いと思います。ある程度それを理解して移住してきた方が移住者と地元の方それぞれのためになると思います。今は自治会や体育連盟、消防団に入っています。箕面に住んでいる時も自治会や消防団など自治組織はあったのだと思いますが、接する機会がなく活動自体あまり知らなかったです。体育連盟など聞いたこともなかったです。ただ先輩方から先に話は聞いていたので、能勢に来たら自治活動に参加する前提でした。能勢は車移動が多く、道端で近所の方と出会いお話しすることが少ないです。だからこそ地元の方との交流として自治活動に参加してよかったと感じています。
実際に住んでみての印象は？
 ある程度は想像はしていたので住む前と印象は変わらなかったです。箕面に住んでいたときは近くにスーパーがいくつもあり特売日などに合わせて都度買い物していましたが、能勢に住んでははじめて買いになりました。あと能勢町外に出る際は、車がなければいけません。公共交通だと少し大変ですね。ちなみに住む家は半年ほど探していました。たまたま研修先の農家の方が、転職されたのでそのまま家や農地、農機具を引き受けることになりました、助かりました。

プロフィール

土居 裕和さん

2022年移住
有機農家として
よい農園を営む

プロフィール

植田 歩さん (父)
絵美さん (母)
お子さん 4人

2015年移住
農業や農産加工品の製造販売などを行う
「べじたぶるばーく株式会社」を営む



すむ人の声



これまでずっと能勢にお住まいですか？
生まれてからずっと能勢にいます。
今は自営業をしております。仕事と休みの境がなく自由で日々楽しく過ごしています。
元々はコンピュータ関連の専門学校を出てそのまま市内で就職。会社では社内の業務システムの運用を行っていました。その間は能勢から通っていました。そのころは家業の欄間（らんま）屋を継ぐつもりはなかったです。

能勢町で仕事をするようになったきっかけは？

27歳の時に父が体調崩してしまったのがきっかけです。会社を辞めて家業を継ぐことに。欄間作りは子どもの頃から見よう見まねでやっていたこともありそれなりにできましたね。

能勢町について教えてください。

能勢は寒いでしょ（笑）

最近はそのでもない時もあります。日本海に面した舞鶴の人でも寒いというくらいです。

海沿いと比べて内陸の寒さはまた違う。能勢に住むなら冬の寒さを知っておいた方がいいと思います。

私は特に寒さ対策はしていませんね。ずっと暮らしてきて寒さに慣れているので（笑）ただし夏の暑さには弱いです。

能勢に住むなら冬はヒーターなど必要にしたいと思います。あと夏の草刈りは大変ですね。うちは先祖代々の土地なので手入れはしっかりするよう努力しています。

移住するにあたって知っておいたほうが良いことは？

移住者される方に知ってほしいのは、田舎は必ずしも「なんでも自由に好きなことができる」場所ではないということです。やはり地域との付き合いは大事にしてほしいと感じます。

関わる際に地元の人も移住者もお互い「あかんもんはあかん」としっかりということは大事だと思う。どこでもそうですが言い方やコミュニケーションの取り方が大事だと思う。

プロフィール

大石 善一さん

能勢出身
自営業で欄間屋をはじめ
様々な事業に携わる

自治会参加について

自治会に入ってもらうことが基本になると思います。地元とのつながりを作る意味でもですし、火事や地震など何かがあった時の助け合いの意味も含めて、顔が見える関係は日頃から大事なので。そこが街とは違うところ。コミュニケーションをとりたいから田舎にきましたとなるときと住みづらいつらいつらと思うし互いに良くない。

街中で育つと田舎の自治活動は見えないので知らずに育つ場合があると思います。田舎で育つとはそれが当たり前前の世界。その価値観の差は大きい。

地域の体育祭ひとつとっても「なんで参加するのか」という考えを持つのではなく、参加を通してのコミュニケーションを取る心構えが大事。

その後の慰労会などで互いの子どもの話をしたり、身の回りのことを話したりすることで顔が見える関係になり、人の繋がりがどんどん広がっていきます。そこが田舎の魅力の一つだと思います。

移住者へ一言お願いします。

能勢に住むならぜひ「直接」のコミュニケーションを大切にしてくださいね。大事なことはそれに尽きると思います。

プロフィール

藤井 崇也さん（父）
知恵美さん（母）
お子さん 2人

崇也さんは能勢出身で
町外へ勤務
知恵美さんは2014年より同居

知恵美さん、能勢に住むきっかけは？

もともと広島出身で進学を機に関西にきました。川西の企業に就職してそこで崇也さんと出会いました。結婚後に主人の実家が能勢だったためそのまま移り住むことに。能勢の印象は「田舎」でしたが広島も似たような環境なのでそこまで気にならなかったです。

子育て環境はいかがですか？

子育てに関しては自然も多く環境は良いと感じています。我が家は近所との距離が離れているので子どもが夜にピアノを練習したり、元気に大きな音を出したり、庭で花火をしてもあまり気になりません。市街地での暮らしと違い、スペースに余裕があるため周りを気にせずにいられることは大きいですね。

あと「作る」ことが生活の中で溢れています。土地を整備するための道具（チェーンソーなど）が家にたくさんあり、鯉のぼりの支柱を作るために山へ木を切りに行ったり、庭に砂遊び場や日除けのための小屋を作ったりと。

ただ子どもの数が少ないので近所で幼稚園ができたというところは難しいです。基本的に友達の家や用事があっても送り迎えが必要です。子ども同士で遊べる環境が望ましいのですが公園が少なく、あっても遊びに行く手段がなく送り迎えが必要になります。大人が介入しないといけない場面は少なくないですね。

崇也さん、通勤は大変ですか？

兵庫県の三田市の方で自宅からは40・50分で通えています。車通勤で特に渋滞もなく困ることはないですね。我が家はバス停が離れているので公共交通機関で通勤するのは厳しかったと思います。自然の中での移動が多く、移動時間がストレスに感じることはありません。市街地のような渋滞がなく快適だと感じています。

普段の暮らしはどうですか？

近隣市町の大規模スーパーまで買い出しに行くには少し離れていますがまとめ買いをするので距離は特に気にならないです。近くに店が少ない分、市街地に住んでいた頃と比べると無駄遣いなども減ったと感じます。

地域活動はどうされていますか？

（崇也さん）消防団に入っています。班長や会計などをやっており、役回りは少ないです。

（知恵美さん）子供会や婦人会の役員をしていますが皆さん参加率がよかったです。わからないことは先輩ママに聞いたりする中で知合いがどんどん増えていきました。そこで書道に通っているという話を聞いて、自身の子どもを通わせるようになって、ママ友と出会うきっかけになりました。

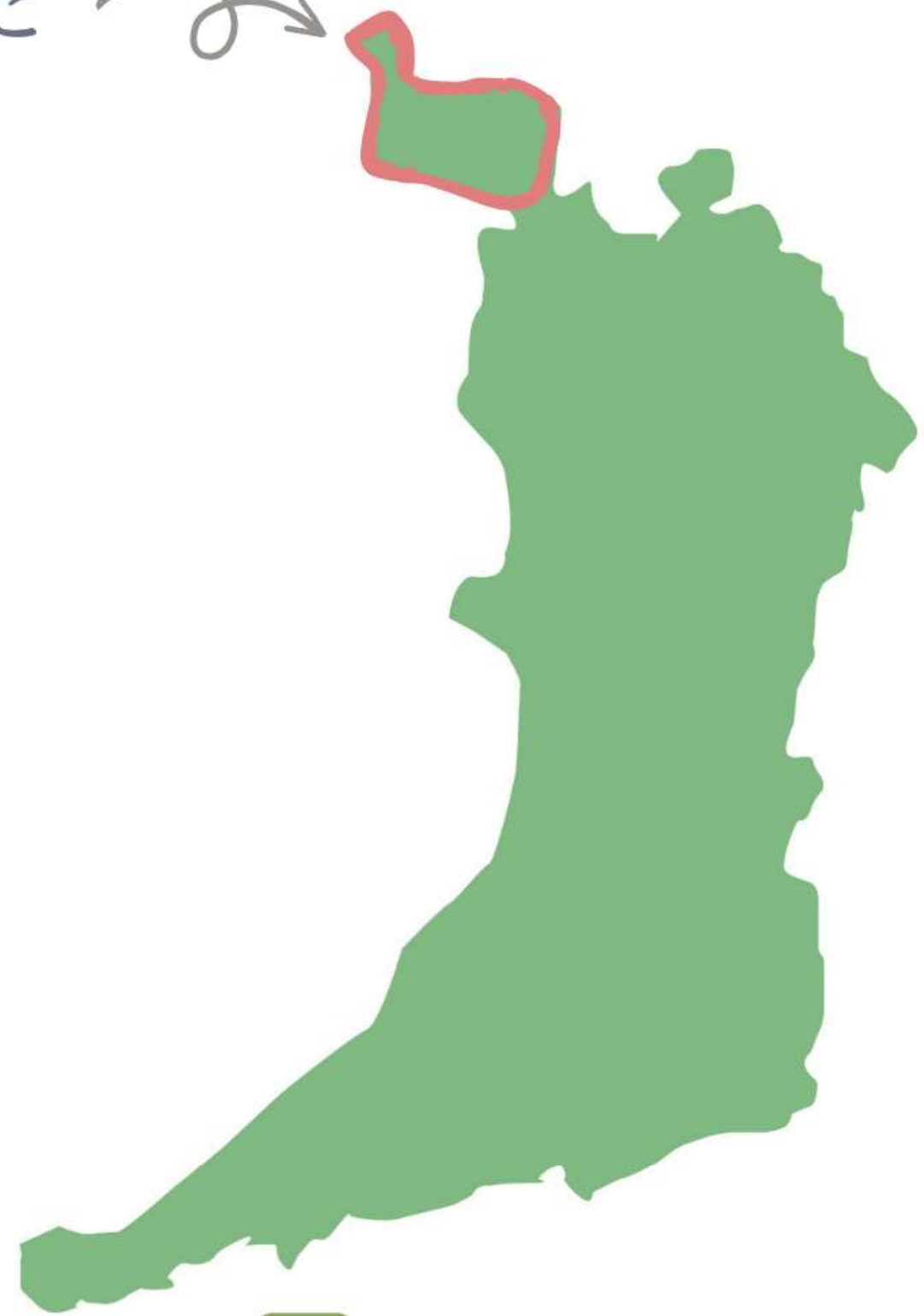
ど含め年に3〜4回集まりがあり準備など少し大変だけれど、自分も子供も世代間を超えて地域と交わるのを見て素敵だと感じています。

移住者希望者への伝えたいことは？

能勢は周りの人が助けてくれることも多く、優しい人が多いと思います。住むなら公共交通機関が少ないので、車に乗れないと厳しいですね。一人一台ないと厳しい。あと冬場に感じるのは雪が積もるのでそこも踏まえていた方が良いでしょう。



能勢はここ



能勢町

発行者●大阪府豊能郡能勢町

発行日●令和6年8月

最終更新日●令和7年8月

www.town.nose.osaka.jp

